

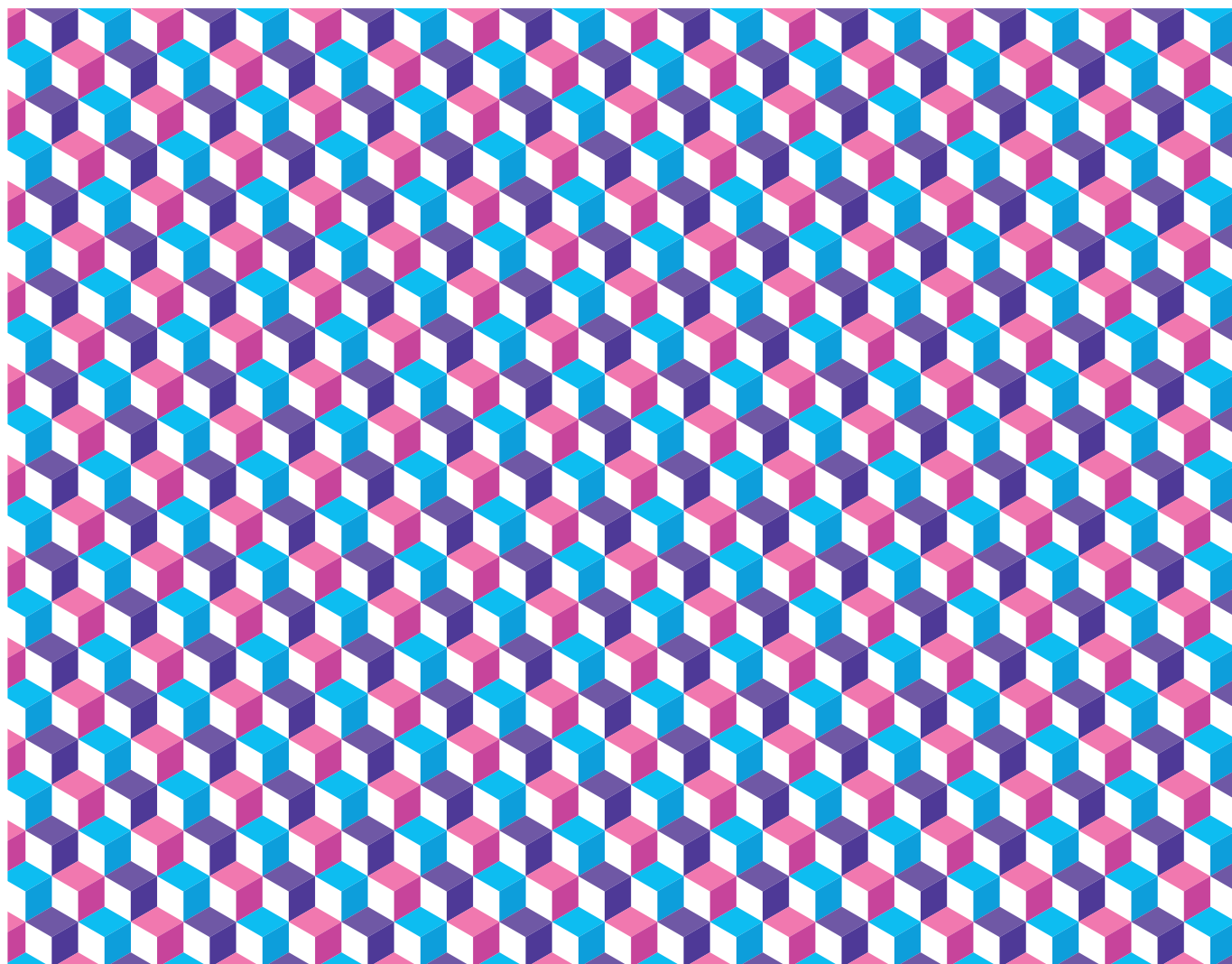


最先端の「知」を、最前線へ

キャリア・プロフェッショナル養成講座

CAREER PROFESSIONAL Training Course

日本のキャリアの未来を創ろう。



日本の キャリアの 未来を 創ろう。

ここには、最先端の学術研究と理論があります。
ここには、支援の現場の「リアル」があります。
そして、様々な領域のプロ同士の「切磋琢磨」があります。
知識は、現場で活かされてこそ「知恵」になる。
さあ、あなたも「日本のキャリアの未来を創る」
プロフェSSIONナルの旅へ、踏み出しませんか。



キャリア・プロフェSSIONナル
としての在り方



キャリア
コンサルティングに
必要な理論と実践

キャリア支援者として必要な理論・
知見・情報を、多様なアプローチから
深く学びます。これらをどのよう
にして「自分のフィールド」で、
「指導者として」生かすか、を常に
問い続ける時間となります。



実践的研究に
関する基礎知識

最先端の「知」を、最前線へ キャリア・プロフェSSIONナル養成講座

CAREER PROFESSIONAL Training Course

本講座は、平成29年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業（筑波大学）」として
採択された優良プログラムを基に立ち上げられました。
企業・学校・雇用調整機関（ハローワーク等）などの多様なキャリア支援領域における、
指導者レベルの人材の養成・強化を目的としています。
「キャリア・プロフェSSIONナル」として習得すべき知識、知見を心理学および周辺領域の観点から
体系的に学ぶことができる、最新で高品質な大学院レベルのカリキュラムとなっています。

本講座で考える「キャリア・プロフェSSIONナル」像は、以下の通りです。

第一線級のキャリア支援者であり、かつキャリア支援者の育成・指導もできる人材

「個人」と「組織」および「社会」に精通し、それぞれにアプローチできる人材

指導者としての豊かな人間性と品格を備えた人材



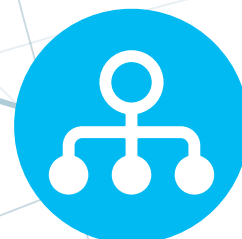
労働・雇用に
関する領域



生涯発達に
関する領域



職場における
心の健康に
関する領域



キャリア開発と
組織開発に関する領域



社会行動や
人間関係に関する領域

講義に加え、ワークやケース検討、リフレクションや
成果発表など、受講生が主体となって進める時間も
大切にしています。学びをどのように現場で生かして
いくのか、主体的な姿勢が求められます。

ともに学ぶのは、様々な背景を持つキャリア支援者
です。講座内外で広げられる、受講生同士の対話は、
学びをいっそう深めます。講座終了後もつながる豊
かなネットワークは、本講座の財産です。



講師陣は、第一線で活躍する研究者や実践者、
多様な領域における専門家であり指導者です。
最新の研究知見や先端的取り組みのみならず、
各フィールドの課題に真摯に向き合う、プロとし
ての在り方からも大きな学びがあります。





岡田 昌毅 教授

筑波大学大学院 人間総合科学研究科
生涯発達専攻カウンセリングコース

キャリア支援領域における指導者に求められる“力”とは何でしょうか。カウンセラーとしての基本的態度やカウンセリングスキルが必要不可欠であることは言うまでもありません。多様な知識や知見、豊富な職業経験、人や社会に対する見識、それらに裏づけられた思考力や行動力なども必要とされるでしょう。本講座では、第一線級の講師陣からの講義や演習による学び、受講者相互による切磋琢磨によって、知と経験を結晶化し昇華させることを目指しています。

また、私たちは人の成長を支援しています。だからこそ、自らも成長し続けることが必要です。全ての人から「素直」に学び、いつまでも「謙虚」に人の言葉に耳を傾け、そして、「初心」に振り返り自身と向き合い、いつまでも学び成長し続けていくこと。それが指導者への道ではないでしょうか。一緒に学び成長していきましょう。

受講者の声



企業向け キャリアコンサルタント

窪田 みち代 さん

企業で働くカウンセラーは個人と組織の両方に働きかける事が求められます。個人が訴えている事や組織課題の背景を理解するために、この講座は大変役に立ちました。また、女性のキャリア・介護・メンタルヘルス等、現場で必要とするタイムリーな内容も扱われます。様々な事柄について、講師と受講者が真剣に意見を交わす中で、多くの視点を心得ることができ、現場で活用しています。素晴らしい講師陣と学ぶ仲間恵まれ、毎回ワクワクしながら参加しています。



大学講師

野条 美貴 さん

キャリア教育に携わる中で、自分の専門性を高めていくことが、カウンセリングの質をあげ、学生さんにとってのより有意義な支援に結び付くと考えています。この講座では、心理学的な観点で、それぞれの専門の先生方から、短時間に内容の濃い熱のこもった講義を受講することができます。そのため、様々な視座をもつことができ、また自分が依って立つ理論は何かを見つけ、これから深く学んでいきたい分野を知ることができました。



需給調整行政機関勤務

寺山 昇 さん

国の「働き方改革」の下でも「キャリア支援・人材育成」が重要な柱の1つになっています。今回の受講で、キャリア支援者の成長をどう促すかを、キャリアコンサルティング、労働・雇用、メンタルヘルスなど幅広い領域の理論や技法、最新の知識から統合的に学びました。これを機に、行政職員の相談スキルの質的向上・拡がりにも寄与していきたいと思っています。



お申し込みHP・お問い合わせはメールにて

H P : extension.sec.tsukuba.ac.jp

Mail : ext_pro16@un.tsukuba.ac.jp



主催：筑波大学

筑波大学大学院 人間総合科学研究科 生涯発達専攻カウンセリングコース
<http://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling>

協 賛：特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会
特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会



最先端の「知」を、最前線へ

キャリア・プロフェッショナル養成講座



〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1
丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車「出口1」徒歩3分程度

「キャリア・プロフェッショナル養成講座」基本構成 約130時間

※一部変更になる場合があります

※日程調整の都合により、科目番号順の実施とならない日があります。

1 コマは75分

回	テーマ	科目タイトル	想定 コマ数	想定担当講師（敬称略）
1	初回オリエンテーション①		1	コーディネーター(筑波大学研究員：高橋南海子、原恵子)
	1.キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1-①キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1	渡辺三枝子(筑波大学名誉教授)
		1-②キャリア・プロフェッショナルへの期待	1	山口 満（キャリアコンサルティング協議会事務局長）
			1	田上不二夫（東京福祉大学教授、筑波大学名誉教授）
	初回オリエンテーション②		1	コーディネーター
2	1.キャリア・プロフェッショナルとしての在り方	1-③キャリア支援者の職業的発達	2	原 恵子（筑波大学研究員）
3		2-①キャリア心理学	4	岡田昌毅（筑波大学教授）
		2-②ヘルピング	2	藤生英行（筑波大学教授）
		2-③グループプロセス	4	飯田順子（筑波大学准教授）
4	2.キャリアコンサルティングに必要な理論と実践	2-④システミックアプローチ	4	田附あえか（筑波大学助教）
5		2-⑤認知行動療法の基礎	6	沢宮容子（筑波大学教授）・ 加濃正人（新中川病院医師・昭和大学横浜市北部兼任講師）
2-⑥アセスメントとケースの概念化		4	大川一郎（筑波大学教授）	
リフレクション①		1	コーディネーター	
7	3.生涯発達に関する領域	3-①発達心理学概論	3	安藤智子（筑波大学教授）
8		3-②教育心理学概論	3	外山美樹（筑波大学准教授）
		3-③大学生や若年就業者の心理と課題	2	道谷里英(順天堂大学准教授)
		3-④女性の心理と課題	2	坂爪洋美（法政大学教授）
		3-⑤中高齢者の心理と課題	2	大川一郎（筑波大学教授）
		3-⑥特別な配慮が必要な人たちへの支援 1:貧困や社会福祉	2	関谷大輝(東京成徳大学准教授)
9		3-⑦ 2:職場における合理的配慮	2	八重田淳（筑波大学准教授）
		3-⑧ 3:発達障がい	2	鈴木俊介(大塚病院児童精神科部長)

回	テーマ	科目タイトル	想定 コマ数	想定担当講師（敬称略）
10	4.人間関係や社会行動に関する領域	4-①惨事ストレスと悲嘆の心理	3	松井豊（筑波大学教授）
		4-②組織における人間関係	2	藤 桂（筑波大学准教授）
11		4-③脳の働きと社会行動	2	小川園子（筑波大学教授）
	リフレクション②		2	コーディネーター
12	5.キャリア開発と組織開発に関する領域	5-①リーダーシップ概論	2	岡田昌毅（筑波大学教授）
		5-②産業・組織心理学	6	堀内泰利（筑波大学研究員）
13		5-③人的資源管理概論	4	今野浩一郎(学習院大学名誉教授)
14		5-④組織開発概論	2	吉武博通(首都大学東京理事、お茶の水女子大学 監事、筑波大学元副学長・名誉教授)
		5-⑤人的資源管理と経営	1	御手洗尚樹（元(株)日立製作所執行役常務人財 統括本部）
		5-⑥企業における先進事例	1	水野みち（日本マンパワーソリューション企画 部グループ専門部長）
15	6.職場における心の健康に関する領域	6-①働く人のメンタルヘルス	4	大塚泰正（筑波大学准教授）
		6-②アディクションと支援	2	原田隆之（筑波大学教授）
16		6-③心身医学	3	村上正人(国際医療福祉大学教授、山王病院心療 内科部長)
		6-④ポジティブ心理学	3	小玉正博（埼玉学園大学教授、筑波大学名誉教 授）
	リフレクション③		1	コーディネーター
17	7.労働・雇用に関する領域	7-①労働関連法規	2	石井清香（石井清香事務所所長；特定社会保険 労務士）
		7-②ファイナンシャル・プラン	3	氏家祥美（ハートマネー代表；ファイナンシャル プランナー）
18		7-③現代の労働課題1: 労働政策・社会政策の観点 から	2	奥津真理(元独立行政法人労働政策研究・研修機 構特任研究員)
		7-④現代の労働課題2:マイノリティの雇用やダイ バーシティ	1	梅田恵（日本アイ・ビー・エム 人事、ダイバー シティ企画担当部長）
		7-⑤-A 現代の労働課題3: 治療と仕事の両立	1	平岡晃（コマツ 産業医、国立がん研究セン ター 外来研究員）
		7-⑤-B 現代の労働課題3: 治療と仕事の両立	1	砂川未夏（がんセンター・キャリア代表、JCDA治療 と仕事の両立支援促進プロジェクトリーダー）
		7-⑥現代の労働課題4:子育てと仕事の両立	1	宮崎真理子（認定NPO法人フローレンス ディ レクター）
19	8.実践的研究に関する基礎 知識	8-①心理学研究法(質的研究の基礎)	2	濱口佳和（筑波大学教授）
		8-②心理学研究法(量的研究の基礎)	2	藤 桂（筑波大学准教授）
	総括		2	コーディネーター